

# ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニュースレター（日本語版）, No.70, July 2009

---

---

ARSC 事務局：〒162-0485 東京都新宿区市ヶ谷本村町 2-9  
（財）計量計画研究所  
応用地域学会事務局 文部科学省学会コード=10023  
会長：田淵隆俊 担当：宮本成雄  
TEL: (03)3268-9692  
FAX: (03)3268-9919  
E-mail: clerk@arsc.org

---

---

主要項目： 新会長就任挨拶  
副会長選挙の結果  
第 23 回研究発表大会のご案内  
日中共同セミナー開催のご案内  
2008 年度学会決算  
2009 年度第一回運営委員会の概要  
事務局だより

---

---

## 1. 新会長就任挨拶

第 12 代会長 田淵隆俊

応用地域学会の第 12 代会長を、2009,2010 年度の 2 年間務めさせていただくことになりました。本学会が発足して 22 年が経ちましたが、数多くの優れた研究者によって質の高い学会活動を継続してまいりました。このような学会の会長に指名され、責務の重さを真摯に受け止めております。会員の皆様方からの多様なご意見を可能なかぎり取り入れて、サービスを向上させるべく学会運営に取り組んでいきたい所存です。学会運営につきましては、財政的に健全な状態を維持できており、会員の皆様の研究をよりいっそう推進できるような方策を展開していきたいと考えております。

多くの学会では、理系の会員か文系の会員のいずれかが大勢を占めています。ところが、本学会では、理系と文系の会員数がほぼ同数であり、所属されている学部も、経済学、土木工学・都市計画学、地理学など極めて多様です。本学会の特長は、このような多様な学問分野が結集していることです。この特長を最大限生かして、学際的に融合し、新たな知を創造し、都市地域のさまざまな問題を解決することが、本学会の重要な使命であると考えております。

研究発表大会は毎年 1 回行われていますが、そのほかにも多くの研究機関で地域科学に関する研究会が頻繁に開催されています。たとえば、京都大学の都市経済学ワークショップ、東京大学の都市経済ワークショップ、東北大学の地域科学ワークショップ、筑波大学の都市・交通経済研究会、名古屋大学の地域科学セミナーが学会ホームページ (<http://www.arsc.org/>) にリンクされています。また、海外で開催される地域科学関連の学

会にも、会員の参加・研究発表が増加する傾向にあります。このように、研究発表の場が増えつつあるなかで、残念なことに、本大会での研究発表の数は若干減りつつあります。そこで皆様にはお願いですが、若い方にかぎることなく、様々な世代の方々に研究を発表していただければと思います。特に年長の方におかれましては、近年の研究動向を展望する論文などを発表していただき、若い世代を大いに啓蒙していただければ幸いです。また、最先端で活躍されている方には、ぜひ本大会においても研究成果を発表し、有機的な連携関係を創り出し、さらなる研究の発展に貢献していただければ幸いです。

以上、微力ではございますが、皆様方のご指導のもとに、学会発展のために寄与したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2. 副会長選挙の結果

副会長選挙管理委員 文 世一 城所幸弘

応用地域学会副会長選挙は、平成 21 年 3 月 23 日締め切りで行われました。結果は以下の通り、総投票数 150 票の内、62 票を獲得された黒田達朗先生（名古屋大学）が当選されました。平成 21 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日までの 2 年間、副会長にご就任いただきます。

投票総数	150 票（無効票 1 票）
黒田達朗（名古屋大学）	62 票

## 3. 第 23 回研究発表大会のご案内

第 23 回研究発表大会実行委員長 貝山道博

2009 年度大会は、山形大学（山形市）において、下記要領で開催いたします。例年にも増して活発な発表と討論を期待しております。発表の受付を開始いたします。積極的にエントリーしていただきますようご案内申し上げます。

### (1) 大会概要

- ①期 日 **2009 年 12 月 12 日（土）、13 日（日）**
- ②会 場 **山形大学人文学部キャンパス**  
〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12  
※アクセスについては下記ホームページをご覧ください。  
<http://www-h.yamagata-u.ac.jp/access/access.htm>
- ③参加費 **会員は無料、非会員は 1,000 円**

### (2) 発表申込

- ①発表者の条件 **ARSC 会員であること**  
※非会員の場合は大会までに入会手続きを行ってください。
- ②記載事項（A4 判 1 枚以内）
  - a.発表者氏名・所属
  - b.連名者氏名・所属
  - c.発表者連絡先 住所、tel、fax、E-mail アドレス
  - d.発表題目（和・英の両方）
  - e.要旨（和文 200 字、英語 100 語程度。できるだけ両方を記載）

f.発表時の使用言語（日本語または英語）

g.希望討論者（候補者2名まで）

※候補者の方に事前に打診される必要はありません。プログラム編成や討論者のご都合によってはご希望に添えないことがあります。あらかじめご了承ください。

h.発表区分（「一般セッション」「Early Bird セッション」「特定セッション」「シンクタンク・セッション」の区分を記入。次項(3)を参照）

③申込方法 E-mail（郵便またはfaxでも可）

④申込先 E-mail kaiyama@human.kj.yamagata-u.ac.jp

住所 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部

電話 023-628-4276 Fax 023-628-4203

⑤申込期限 2009年9月7日（月）必着

### (3) セッション構成と企画の募集

- ・例年どおり下記セッションを開催いたします。「特定セッション」と「シンクタンク・セッション」については、広く会員各位からの企画提案を募集しています。
- ・なお、大会実行委員会では、地元向け企画として「地域ブランド戦略による地域活性化」についてのシンポジウムと「環境とエネルギー」についてのシンクタンク・セッションを検討中です。
- ・2009年9月7日（月）までに企画提案をお送りください（送り先は上記申込先と同じです。書式は問いません）。

一般 セッション	・幅広い論題でのセッションです。下記のキーワード（事例）に限定することなく、ARSCにとって関連のある論題を積極的にご報告ください。 《地域問題》成長と衰退、地域格差、産業構造、雇用・人口、地方分権、地方交付税、国土計画 《都市問題》都市空間、土地利用、都市集積、外部経済、住宅立地、都市化、都市財政 《交通》都市交通、混雑税、TDM、航空・港湾、投資評価、物流、通信 《環境》影響評価、環境税、水質・大気汚染、地球環境、電力、資源管理、防災 《国際問題》開発援助、直接投資、通貨問題、貿易・関税
Early Bird セッション	・博士論文等を執筆している若手研究者や大学院在籍中の学生会員が単著で申し込んだ発表から構成されます。 ・ARSCの将来を担う若手研究者による積極的な報告を期待しています。
特定 セッション	・特定の論題を重点的に議論するためのセッションです。論点や方法論、対象が共通する論文数編から構成されます（以前にはGIS、ロードプライシングなどの論題が取り上げられました）。 ・このセッションの企画を募集しております。オーガナイザーを務めていただける方々からの積極的な応募をお願いいたします。
シンクタンク・ セッション	・ARSCは、会員による研究成果を実務へ活用するとともに、実務の中で発見された様々な問題を新たな研究課題として会員に紹介するという双方向の展開が重要であるという共通認識に立っています。 ・このセッションは、会員の中で特に計画、政策立案、それに関連する調査等の実務に携わっている方々からの報告や問題提起を基に構成されます。 ・賛助会員の方々をはじめ、実務関係者の方々からの <u>企画提案をお待ちしております</u> 。

#### (4) 今後の予定

##### ①大会プログラム

・10月半ばごろに確定し、ARSC のホームページとニュースレターを通じてお知らせいたします。

##### ②発表原稿

・最終の発表原稿を11月6日(金)までに座長、討論者、大会事務局の3か所にそれぞれ個別にお送りください。

※E-mailに添付して送られる場合は、必ずPDF形式にしてください。ファイルが重たくなって関係先にご迷惑をおかけすることがあります。

※座長、討論者の連絡先が分からないときは、大会事務局にお問い合わせください。

#### (5) 2009年大会実行組織

(敬称略)

大会実行委員会	委員長 貝山道博 山形大学 委員 田北俊昭 山形大学 委員
プログラム委員会	委員長 文 世一 京都大学 委員 大沢義明 筑波大学 委員 河野達仁 東北大学 委員 佐藤泰裕 大阪大学 委員 田北俊昭 山形大学
大会事務局・ お問い合わせ	〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部 貝山研究室 電話 023-628-4276 Fax 023-628-4203 Eメール; kaiyama@human.kj.yamagata-u.ac.jp

#### 5. 日中共同セミナーの開催ご案内

小林潔司、松島格也 (京都大学)

応用地域学会では、日本と中国における地域科学の研究交流を促進するために、昨年及び一昨年に引き続き、中国地域学会 (RSAC: Regional Science Association of China) と共済で第3回応用地域科学に関する日中共同セミナーを、本年度は日本(京都市)にて開催することとなりました。セミナー開催及び研究論文発表の募集に関する概要は以下のとおりです。奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

##### (1) セミナー概要

(ア) 日程: 2009年10月3日(土)~4日(日)

(イ) 場所: キャンパスプラザ京都

[http://www.consortium.or.jp/category\\_list.php?frmCd=14-1-0-0](http://www.consortium.or.jp/category_list.php?frmCd=14-1-0-0)

(ウ) プログラム概要 (予定)

- ✓ 基調講演
- ✓ 研究論文の発表・討論・質疑応答 (テーマは地域科学に関わるならば全て可)
- ✓ 公式用語: 英語

(エ) セミナー参加費 会員 2,000円, 非会員 4,000円 (昼食代2回分含む, 懇親会別)

(オ) 懇親会

- ✓ 10月3日(土) 夕刻

- ✓ がんこ高瀬川二条苑 <http://www.gankofood.co.jp/group/oyashiki/nijyoen/>
- ✓ 参加費：7,000 円（予定）

(2) 研究論文発表の申込み

(ア) 申込み

以下の必要事項を記入して E-mail で申込み下さい。(Fax または郵便にても可)

- ✓ 著者・氏名・所属 (和文・英文とも)
- ✓ 発表者・氏名・所属 (和文・英文とも)
- ✓ 連絡先 (住所, Tel, Fax, E-mail アドレス, 和文のみで可)
- ✓ 発表題目及び要旨 (200 語程度, 英文)

(イ) 申込先

- ✓ 〒162-0845 新宿区市ヶ谷本村町 2-9  
財団法人 計量計画研究所内 応用地域学会  
clerk@arsc.org, Fax:03-3268-9919

**(ウ) 申込締切：2009 年 7 月 31 日 (金)**

(3) セミナー参加のみの申込み

論文発表をせずにご参加のみの方は、ご氏名、ご所属、連絡先 (住所, Tel, Fax, E-mail アドレス) を E-mail または Fax にて 2009 年 8 月 31 日 (月) までに上記申込先へご送付下さい。

参加申し込み票は、別途同封用紙をご使用ください。

## 6. 2008 年度学会決算

事務局担当：宮本成雄(計量計画研究所)

2008 年度学会決算を別添のようになります。(決算書は、後段に添付、)

- ・今年度の繰越金が多くなっているが、RURDS の発刊が遅れ、その支払いが 2009 年度決算に回ることになるので、その分は差し引いて考えねばならない。
- ・各大会への ARSC からの補助は、以下の通り。

釧路大会；332,677 円、 日中共同セミナー；486,865 円

監査委員による監査後、本年度大会での総会にて会員の皆様への報告がなされ、最終承認される予定です。なお監査委員は、吾郷貴紀 (高崎経済大学) 及び藤原 徹 (明海大学) の両先生にお願いすることになりました。

## 7. 会員名簿作成と記載事項確認について

事務局担当：宮本成雄(計量計画研究所)

会員名簿の発行については、2003 年以降行われておりません。会員相互の交流のため、最新の情報が必要との会員皆様からの要望があります。個人情報保護法の関連での各会員への公開情報の確認を行い、職場の情報のみで発行する方針でありますが、住所、職場変更等もあり、再度会員情報の確認を行ったうえで、発行することになりました。

今回のニューズレターに、会員情報確認用の用紙を同封しております。記載されている内容は、事務局に現在登録されている内容です。最新の情報に変更していただくと同時に、名簿へ記載可能なものをお知らせください。その回答内容でもって名簿を作成する方針でいます。

## 8. 2009年度第一回運営委員会報告概要

事務局担当：宮本成雄((財)計量計画研究所)

2009年度第一回運営委員会が6月21日(日)に行われました。議事録の詳細が必要な方は事務局までお知らせ下さい。以下に、議事の要点をご紹介します。

- ・副会長選挙結果報告(前掲)
- ・運営幹事等役員の選任
  - 2009年度の役員は、新規選任等も含め、以下の通りに決定された。
  - \* 運営幹事 <2008・2009>
    - 総務；文 世一(京都大学) 渉外；金本良嗣(東京大学)
    - 会計；衣笠達夫(追手門学院大学)
  - \* 監査委員 <2009・2010>
    - 吾郷貴紀(高崎経済大学)、藤原 徹(明海大学)
  - \* 選挙管理委員<2008・2009>
    - 城所幸弘(政策研究大学院大学)、瀬古美喜(慶應義塾大学)
  - \* 名簿編集小委員会
    - 委員長；柏谷増男(愛媛大学) 委員；上田孝行(東京大学)
    - 委員；奥村 誠(東北大学)
  - \* 大会プログラム委員会<2009>
    - 委員長；文世一(京都大学)
    - 委員；大澤義明(筑波大学)、河野達仁(東北大学)、佐藤泰裕(大阪大学)
    - 田北俊昭(山形大学)
  - \* 2009年度坂下賞選考委員会
    - 委員長；藤田 昌久(甲南大学)(今回の運営委員会で委員長に選任)
    - 委員；金本 良嗣(東京大学)
    - 委員；上田孝行(東京大学)(今回の運営委員会で選任)
    - 委員；田淵 隆俊(ARSC 会長)
    - 委員；黒田 達朗(ARSC 副会長)
- ・決算報告(別掲)
- ・2007年度研究発表大会の開催について(前掲)
- ・日中共同セミナーの開催について(別掲)
- ・会員名簿編集について(前掲)
- ・RURDS 出版関係
  - \* RURDS の出版購読状況、電子アクセス状況について、WILEY-BLACKWELL のRURDS 担当者である、エリーシャ昌美氏より報告を受ける。(質疑を受けた後、氏は退席)
  - \* 2008年度の2号、3号の発刊が、投稿数が少なかったことなどにより遅れている。
  - \* 機関購読の推進を。
  - \* 編集委員会が新しくなったことについて、RURDS 誌上においても広報を行う
  - \* ARSC 会員の投稿が少ない、各大学の先生方の投稿、寄稿の依頼、奨励などを行う。
- ・応用地域学研究出版関係
  - 応用地域学研究に関し、奥村誠編集委員長からの報告がなされた。
  - \* 2009年度になってからの投稿は、3件と極めて少ない。
  - \* 現在、従前のものと合わせて、2件が掲載可能、3件が査読中である。

- \*今後、展望論文なども含め、投稿、寄稿を PR していくことも必要である。
- ・ホームページについて
  - ホームページ担当の矢澤則彦先生から以下の報告がなされた。
  - \*ホームページ管理を 1 人が担当していくのは大変であるので、主要なメンバー複数が、必要なときに、それぞれの内容を変更できるようなシステムを作り上げることが必要である。
  - \*事務局業務の効率化をも含め、会員管理の一元化のシステムの検討も必要である。会員管理システムを運用している会社もあるので、そこに委託する方法もある。
  - \*ホームページ管理、会員管理システムの仕様を検討し、費用、メンテナンスの方法等さらに検討する。

## 9. 事務局だより

---

事務局 宮本成雄

### □ARSC 会員現勢

2009 年 6 月 30 日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 439 名(内、一般会員 381 名、学生会員 39 名、海外会員 9 名)  
賛助会員 10 団体(総口数 14 口)。

- 地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。個人会員用の入会申込書は ARSC のホームページ(<http://www.arsc.org/>)より入手可能です。また、E-mail によるお申し込みも受け付けておりますので、記入事項を ARSC ホームページにてご確認の上、必要事項を記入して [clerk@arsc.org](mailto:clerk@arsc.org) 宛て E-mail でお申し込み下さい。
- 事務局やニューズレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、お知らせいただきたいと思っております。

2008年度決算(案)

収入の部	2008年度予算		2008年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.繰越金	7,473,728	0.00	7,473,728	
2.個人会費収入	4,600,000	1,800.00	4,200,000	
3. RSAI会費	284,900	0.00	316,000	
4.賛助会費収入	1,100,000	0.00	1,250,000	
5.補助金(科学研究費補助)	0	0.00	0	
6.大会参加費収入	235,000	0.00	575,400	
(年次大会)	60,000	0.00	439,000	
(中国大会)	175,000	0.00	136,400	
7.大会開催寄付金	0	0.00	150,000	
8.利子収入	0	0.00	7,085	
9.雑誌販売(Back Number)	0	0.00	19,120	
10.その他	0	0.00	400,000	*
収入合計	13,693,628	1,800.00	14,391,333	

(繰越金を除く収入合計)

6,219,900 1,800.00

6,917,605

(ドル貨を含む収入合計)

6,342,900

\* RURDS編集費(財)昭和経済研究所

支出の部	2008年度予算		2008年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.RURDS購読費	3,224,000	0.00	730,032	
(編集経費)	0	0.00		
(購読費)	3,224,000	0.00	730,032	
2.年報刊行費	1,000,000	0.00	1,069,061	
3.大会開催費	1,325,000	0.00	1,544,942	
(年次大会)	650,000	0.00	921,677	
(中国大会)	675,000	0.00	623,265	
4. RSAIへの送金	284,900	0.00	199,500	
5.坂下賞	121,000	0.00	121,000	
6.名簿印刷費	50,000	0.00	0	
7. ニューズレター等印刷費	100,000	0.00	84,305	
8.一般事務費	280,000	0.00	348,670	
(郵送費)	200,000	0.00	181,400	
(消耗品等)	10,000	0.00	21,980	
(謝金・交通費等)	50,000	0.00	133,460	
(銀行手数料)	20,000	0.00	11,830	
9.事務局費	600,000	0.00	600,000	
10.予備費	50,000	0.00	0	
支出合計	7,034,900	0.00	4,697,510	
繰越金	6,658,728	1,800.00	9,693,823	
ドル貨円換算(手数料を除く)	123,000			
繰越金合計	6,781,728		9,693,823	

注; 2001年度よりドル口座を廃止。海外会員の会費は、円に換金して円口座に入金。